大　会　役　員

大会長	品田吉博			
副大会長	恩村一郎	蓑嶋和央	澤田義盛	志田幸雄
監事	田川芳紀	高野洋史		

大　会　委　員

大会委員長	玉井清史			
大会副委員長	中村冨士雄			
大会委員	赤松幸広	安曇範子	井上晃男	井上智雄
	遠藤典康	大町和敏	岡村美穂子	小川秀一
	小西淳一	斉藤一幸	坂井秋人	佐藤光司
	志田光瑞	杉谷　透	竹居田幸蔵	竹田安宏
	谷　知樹	中島正樹	早崎　勝	日裏徹也
	平野伸也	古田　仁	南山雅礼	安岡行雄
	山岸正直			

競　技　役　員

総務	志田光瑞				
副総務	井上晃男				
総務員	(ト)肥田政博	(フ)平野伸也	(庶)竹田安宏	(庶)小川秀一	(庶)岡村美穂子
技術総務	澤田義盛				
トラック審判長	大町和敏				
フィールド審判長	赤松幸広				
ジュリー（上訴審判員）	志田幸雄	玉井清史			
記録員	(主)薄　昇				
	川上重子				
情報処理員	(主)斉藤一幸				
	幅崎雅仁	高木直子	小林　孝	斎藤竜也	
アナウンサー	(主)渋谷俊之				
	平林和樹	斉藤美穂	松田顕二	山口真沙美(兼)	
マーシャル（場内司令）	(主)輪島忠幸				
兼練習場係	加納一美				
競技者係	(主)道浦陽子	小川秀一(兼)			
	吉川伸彦	郡司厚志	笠井　強	森田隆一	渡邊　啓
	蜂屋真由美	藤村勝江			
役員・庶務係	(主)岩間富子				
	森恵美子				
公式計測員	澤田義盛(兼)				
用器具係	(主)吉田牧人	岩渕　諭			
	大井貴博	古田　仁	藤井　保	島　敏昭	木浪　大
風力計測員	(主)中村冨士雄	高橋央匡			
	小林孝和	中脇信司	成　智世	住岡　浩	
計時・決勝審判員員	(主)楯石英雄				
周回記録員	(主)坂井秋人				
	吉田　茂	岡　智哉	竜田淳一	大森喜幸	
写真判定員	(主)中島正樹				
	田中拓己	酒井　慶	西川　剛	長谷川諭	豊川洋人
	臼井友洋				
監察員	(主)西巻秀仁				
	世良田弘治	諏訪義彦	吉田憲昭	北村忠雄	中村貴裕

ス　タ　ー　タ　ー　㈱遠藤　典康
日向　敏明　金子　秀彰　小森　勝　町　悠太郎　竹田　安宏㈱
出　発　係　㈱谷　知樹　田邊　均
高橋　秀典　吉尾　孝行　伊藤　俊文　門田　正順　白幡十夢良
杉本　舞
跳　躍　審　判　員　㈱高橋　巧　野間　一也　須藤　敏明
小山　里司　梅津　義信　神　慶次郎　藤井　貴浩　矢野　慎吾
鎌田　幸枝　鎌田由紀子　藤村　洋之　菊池　一樹　小林　慎也
稲川　晃　宮本　秀一　本間　史恵　若林　文時　形部眞一郎
下田　祐太　山下真由美　橋本　秀樹㈱
投　て　き　審　判　員　㈱堤　裕之　伊藤新太郎　鵜野　和憲
津田　坦幸　沼口　悦子　寺井　彩乃　大脇　徳芳　藤根　淳一
串山　義裕　可香谷紀子　山﨑　翔平　藪本　倫紀　栗山　一人㈱
光　波　計　測　員　㈱樋山　良司
澤尻　知徳
競　歩　審　判　員　㈱橋本　秀樹
竹田　安宏㈱　吉田　茂㈱　肥田　政博㈱　吉田　牧人㈱　岩 渕　論㈱
補　助　員　係　肥田　政博㈱　竹田　安宏㈱
医　務　員　山口真沙美㈱

競　技　注　意　事　項

1．本大会に適用する競技規則は、2017年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項により実施する。
2．本競技場における朝の練習は８：00までとする。投てき練習（ハンマー投を除く）は一方向で行い、周囲に十分気をつけて行う。ウォーミングアップでのフィールド内の使用は禁止する。
3．競技者の招集について
⑴　招集所は競技場第１ゲート側の外に設ける。
⑵　招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	フィールド競技	40分前	30分前

⑶　招集方法
ア．競技者は、招集開始時刻前に、競技者招集所付近に掲示した出場競技者一覧表に、競技者または代理人がチェックする。（〇で囲む）
イ．競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所で待機する。
ウ．招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
エ．他の種目と兼ねて出場する競技者は、そのことを競技者係に申し出て、出場の確認を受ける。
オ．リレーのオーダーは、招集完了時刻１時間前までに競技者係へ報告する。棄権の場合も競技者係へ申し出る。
4．競技場への入退場について
⑴　競技場への入退場は、係員の誘導に従い規律ある行動をとること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。トラック内は場内司令の指示に従う。
⑵　トラック競技出場者は、フィニッシュラインに到着後、第２ゲートを通り退場する。また、メインスタンド前、本部前の通行は禁止とする。
⑶　フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員・場内司令の指示に従う。
5．ナンバーカードについて
⑴　使用するナンバーカードは、今年度中使用するので大切に保管する。紛失した場合は、各自で用意する。（アスリートランキングでエントリーする大会は、１年間、同じナンバーを使用する。）
⑵　ナンバーカードは、必ずユニフォームの胸背に確実に付ける。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかでよい。
⑶　トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付ける。5000m・5000mWでは、黄色のレーンナンバーカードを使用する。
⑷　ナンバーカードをつけずに競技に出場することはできない。

6．競技について

⑴　トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。

⑵　スパイクは11本以内、長さは９㎜を超えてはならない。走高跳・やり投の場合、12㎜を超えてはならない。

⑶　不正スタートは１回で失格とする。小学生は従来通りのスタート方法で、日本語で行う。

⑷　トラック競技におけるスターティングブロックセット後のスタート練習は、時間短縮のため30ｍまでとする。同様に、100ｍＨ・110ｍＨのハードル練習は２台までとする。

⑸　事故防止のため、ゴール到着後も自分のレーン（曲走路）を走る。

⑹　800ｍは高校・一般はセパレートレーン、小学生はオープンレーンで行う。

⑺　80ｍハードルは、ハードルの高さ70㎝、ハードル間７ｍ、ハードルの台数９台、スタートから第１ハードルまで13ｍ、最終ハードルからゴールまで11ｍとする。

⑻　競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。やりは検定を受けて通ったものを使用することができる。検定時間は、11：00までとする。検定場所は、第２ゲート側用器具庫付近で行う。

⑼　走高跳のバーの上げ方については、当日に決定する。

7．その他

⑴　正面開門時間は６：30、ゲート開門時間は７：00を予定している。

⑵　受付および参加費の納入は、７：15頃からメインスタンド下大会本部で行う。第２戦に出場する団体は、第２戦の受付もこの時に行う。

⑶　プログラムの訂正は、８：00までに大会総務に申し出る。

⑷　役員全体打ち合わせは８：00からメインスタンド前で行い、その後各パート打ち合わせを行う。

⑸　ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行うが、以後の責任は負わない。

⑹　ゴミの始末は各自・各チームが責任をもって行い、競技場にはいっさい捨てないこと。

⑺　テントの設置は、取り扱い説明書に従い、しっかりと固定すること。

⑻　テントは、野球場側や駐車場周辺には事故防止のため設置しないこと。

⑼　車の駐車について、2015・2016年円山競技場通行証（札幌陸協発行）にて駐車することが可能です。なお、この大会期間にて、札幌陸協審判登録を行えば、2017・2018年円山競技場許可証が発行されますので、手続きをしてください。当日円山球場は、少年野球の開催が予定されています。野球場側へは駐車しないでください。なお、ファウルボールによる車の損傷があっても、当協会では、保証は一切出来ませんのでご注意ください。

8．審判業務について

⑴　補助員について、ご協力いただける学校等ありましたら、総務（庶務）に人数をお知らせください。その後、人数や担当部署の調整を行います。補助員は８：10にメインスタンド前に集合してください。

⑵　用器具係担当部署の準備が出来次第、用器具のセットは各パートで行ってください。また、終了後の撤去については、パートごと出来る範囲で行ってください。終了後は用器具係に報告してください。

〔運営要領〕

各用紙の流し方

⑴　スタートリスト

トラック競技	競技者係 →	出発係・トラック審判長・写真判定員・監察員・（風力計測員・周回記録員・競歩審判員）・アナウンサー
フィールド競技	競技者係 →	各担当審判（跳躍・投擲）・フィールド審判長・（風力計測員）

⑵　リザルト

トラック競技 フィールド競技	記録員 →	各審判長（トラック・ フィールド）・アナウンサー・掲示